

【経済トピック第4号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2020年10月6日

「アゼルバイジャン観光局(Azerbaijan Tourism Board)」について

1. アゼルバイジャン観光局は、観光庁(Tourism Agency)の下部組織として2018年に設立されました。
2. アゼルバイジャン政府は観光振興を進めています。2019年の外国人訪問客数は、前年比3割増となり300万人を超えました。今年は、新型コロナウイルスの感染拡大により観光客が減少している中、観光関連施設の衛生管理等が行われています。
3. 10月14日には、アゼルバイジャンと外国の観光会社のマッチングを目的とした、「トラベルビジネス・アゼルバイジャン」のオンラインイベントを実施する予定です(詳細は下記リンクを参照)。参加は無料です。

<https://tourismboard.az/news/532-azerbaijan-invites-hosted-buyers-to-travel-business-azerbaijan-online-2020>

4. 観光地整備の一環として、去年は首都バクーの「燃える丘」の整備が完了しました。現在は「泥火山」の整備が進められています。また、去年は、北西部に位置する古都シェキの歴史地区及びシェキ・ハーン宮殿が世界遺産に登録されました。
5. 2018年に実施した市場調査の結果、これまでロシア、中東諸国、インド、中国等に事務所を設置しています。今後は、CIS諸国、韓国、日本等のマーケットにも焦点が当てられるようです。

(以上)